

平成19年3月5日

組織の一部改正と人事異動のお知らせ

2007年4月1日付けにて、下記のとおり組織の一部改正と人事異動を行います。

記

1. 組織の一部改正

(1) スタッフ部門の再編

スタッフ業務の連携強化とさらなる業務効率化に向け、以下のとおり再編する。

- ①グループ全体のリスク対策機能と法務対応機能の連携強化を目的に、現「法務部」の全機能を「総務部」に移管し、「総務部法務室」とする。これにより「法務部」は解消する。
- ②全社的な渉外機能の集約を目的に、現「秘書部」の全機能を「総務部」に移管し、「総務部秘書室」とする。これにより「秘書部」は解消する。
- ③資本政策立案機能と財務情報発信機能の連携強化を目的に、現「IR部」の全機能を「財務部」に移管し、「財務部IR室」とする。これにより「IR部」は解消する。

(2) 研究・生産・技術部門の再編

グループ全体の研究・生産・技術部門の連携を強化し、R&D・生産戦略立案とモノづくりの抜本的な仕組み改革を推進するために、「技術企画部」を新設する。

(3) 国際事業部の再編

進出国の販売サポート・管理機能の強化、および代理店市場の事業再編、新興市場への参入強化を目的に、「欧州部」と「アジアパシフィック部」を統合し、「グローバル営業部」とする。

(4) プロフェッショナル事業部の再編

プロフェッショナル事業の成長性拡大と事業部内の連携強化を目的に、以下のとおり再編する。

- ①有望な成長市場であるエステティック事業の強化を目的に、「エステティック事業推進部」を新設する。
- ②上記エステティック関連機能を除き、「プロフェッショナル企画部」の事業戦略立案・推進機能と、「プロフェッショナル事業推進部」が担う国内外のプロダクトとサービスの両事業の管理・推進機能を再編・統合し、新たに「プロフェッショナル企画部」とする。これにより「プロフェッショナル事業推進部」は解消する。

(5) 国内化粧品事業の再編

国内化粧品事業における各種研修機能と営業・店頭活動立案機能の連携強化と、組織小売業への対応強化を狙いに、以下のとおり再編する。

- ①現「推販部」が担うビューティーコンサルタント研修機能および営業研修機能を「事業企画部」に、得意先研修機能を「専門店部」にそれぞれ移管する。これにより「推販部」は解消する。
- ②ホールセール対応機能と組織流通対応機能の連携強化を図り、組織小売業への対応を一層強化することを目的に、現「ホールセール部」の全機能を「組織流通部」に移管し、「組織流通部ホールセール室」とする。これにより「ホールセール部」は解消する。

2. 人事異動

(1) 株式会社資生堂

■購買部長兼生産企画部長（購買部長）滝浪亨 ■生産技術開発センター所長（掛川工場長）華房正芳 ■掛川工場長（掛川工場製薬部長）枝尚 ■宣伝制作部長兼企業文化部長（宣伝制作部長）一橋忠 ■プロフェッショナル事業部プロフェッショナル企画部長（プロフェッショナル事業部プロフェッショナル事業推進部長）鳥海康男 ■フロンティアサイエンス事業部長（特許部長）福井寛 ■特許部長（フロンティアサイエンス事業部長）坂本敦男 ■R&D企画部長兼技術企画部長（R&D企画部長）西山聖二 ■プロフェッショナル事業部エステティック事業推進部長（プロフェッショナル事業部プロフェッショナル企画部長）小出誠 ■国際事業部グローバル営業部長（国際事業部欧州部長）岡澤雄 ■久喜工場長（鎌倉工場長）花房文人 ■鎌倉工場長（久喜工場長）高柳勇生 ■専門店部長（推販部長）赤木幹男

(2) 関係会社

■資生堂マレーシア取締役社長（株資生堂財務部課長）河内正之 ■資生堂美容室(株)取締役社長（資生堂美容室(株)営業企画部長）福田厚志 ■資生堂薬品(株)取締役社長（株資生堂ヘルスケア事業部課長）高原英二 ■資生堂リース(株)取締役社長（資生堂リース(株)経営管理部長）横溝彰彦

※ なお、関係会社の役員異動については、各関係会社の株主総会ならびに株主総会終了後の取締役会において決定します。

以上